

(参考様式4)

事業所名 グループホーム 菜の花 西岡館

目標達成計画

作成日: 令和 6 年 3 月 1 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1 12	・職員間における理念の共有が不足している。 ・教育不足による知識、認識が不足している。	・理念の浸透により目的を理解し、実践に繋げることが出来る。 ・教育により知識、介護技術、対人スキルの向上、また職員間におけるコミュニケーション、チームワークの向上を図ることが出来る。	1) 「理念」の共有、目的の理解 ～ 4月カンファ時、欠席者個別にて実施 2) 理念唱和 ～ 申し送り時、カンファ時 3) 理念に基づいたケアの実践評価 ～ 毎月カンファ時 4) 必須研修以外の各個人が不足している研修の実施、また外部研修の受講、伝達	令和6年4月 ～ 令和7年3月
2	2 20 25	・地域との関わりの少なさにより、関係性の構築が出来ていない。	・地域住民、町内会、建物オーナー、近隣施設等との交流を増やし、協力関係を築くことが出来る。	1) 町内会等の参加を要請し、避難訓練の実施を行う。 2) 災害時における協力内容の確認(一時避難場所、食品等) 3) 定期総会、夏祭り、他町内会行事への参加 4) 近隣施設と協働したイベント実施に向けた話し合い、参加	令和6年4月 ～ 令和7年3月
3	36 45 48	・外出支援が不足している。	・地域交流も含め、外出支援を行うことで入居者様のストレスを緩和することが出来る。	1) 近隣の散歩、買い物にて地域住民との挨拶等の交流 2) 花見、紅葉等 行楽地への外出 3) 地域行事への参加	令和6年4月 ～ 令和7年3月
4					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。